

入院日数と出産に関する費用

自然分娩の場合

入院日数 …… 初産の方は出産翌日から**6日間**、経産婦の方は出産翌日から**5日間**の入院が基本です。
出産費用 …… **約55～66万円**(6～7日入院の場合)

帝王切開の場合

入院日数 …… **9～10日**入院が基本です。(術前：1日、手術日：1日、術後：7～8日)
出産費用 …… **約37～53万円**(9～10日入院の場合)

※出産費用は概算です。入院日数、処置の内容等により変動します。また、平日夜間(17時00分～翌8時30分)又は土日祝日・年末年始に出生した場合には、加算費用が発生します。
※当院では、退院時の支払負担が軽減されるよう「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」をご利用いただくことを原則としています。出産費用が42万円を超えた場合は、不足額を窓口でお支払いいただきます。42万円未満の場合は差額を医療保険者に請求できます。
※入院日数は、産前産後の状況により前後します。

病室(新館5階)のご案内

有料個室S (1部屋)

料金 22,000円(税込)/日
面積 約18㎡
設備 シャワー、トイレ、洗面台、テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)、ソファ、クローゼット、電源(100Wまで)(無料)、Wi-Fi(無料)



有料個室A (3部屋)

料金 11,000円(税込)/日
面積 約15㎡
設備 シャワー、トイレ、洗面台、テレビ(有料)、冷蔵庫(有料)、ロッカー、電源(100Wまで)(無料)、Wi-Fi(無料)



4床室 (16床)

設備 トイレ(共用)、洗面台(共用)、テレビ(有料)、冷蔵庫(有料)、電源(100Wまで)(無料)



廊下側でも自然光が入る多床室

詳しくは病院ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/syoni-syusanki/syussan/>



地図・交通アクセス

路線バスをご利用の方

- JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分
平21、22、26、77 市民病院前経由金田公民館行き、市民病院前行き、市民病院前経由高村団地行き、市民病院前経由東海大学行き「市民病院前」下車 運賃：現金200円、ICカード199円
- 伊勢原方面から平塚駅行「中原下車」バス停下車、ヘルシーロード徒歩約20分
- 秦野方面から平塚駅行「南原」バス停下車、徒歩約10分

車をご利用の方

- 午前中は、大変混雑しますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。
- 信号「平塚市民病院入口」から進入してください。
- 外来駐車場(有料) ※交通系電子マネーでの支払いが可能となりました。
利用時間 午前7時00分～午後7時30分
料 金 外来患者…入場後30分無料、同90分100円、以降すべて200円
— 一般…入場後30分無料、同90分100円、以降1時間ごとに100円加算(面会含む)

入院中の生活

6:00 起床
8:00 朝食
退院指導、沐浴指導、調乳指導
12:00 昼食
15:00 おやつ
18:00 夕食
21:00 消灯

※帝王切開の場合には、基本的には、手術後2日目の夕食から普通食になります。
※産後は基本母児同室ですが、体調を考慮し、赤ちゃんをお預かりします。

施設等のお知らせ

●コンビニ「セブンイレブン」

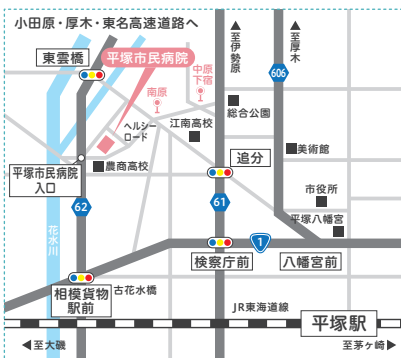
営業時間 平日 午前7時～午後7時
土日祝日 午前9時～午後5時
※年末年始は営業時間が異なる場合があります。

●ラウンジ 飲料自動販売機

Wi-Fi(無料)
午前6時～午後9時



●デイルーム ●シャワー室(共用)2箇所



平塚市民病院で 出産を お考えの方へ



平塚市民病院

〒254-0065 平塚市南原1-19-1

TEL 0463-32-0015

「診療体制」と「医療環境」

当院では、産婦人科医、助産師、小児科医、新生児集中治療室看護師が密に連携を取り、お母さんと赤ちゃんにとって安心・安全な環境を作ることをスタッフ一同心掛けています。

産婦人科には、令和4年10月1日現在4人の常勤医（うち日本産科婦人科学会専門医2人）がおり、24時間の分娩並びに産科救急疾患に対応しています。

また、帝王切開時における麻酔・全身管理は麻酔科医師が行います。

夜間や土・日・祝日・年末年始における緊急帝王切開の際も麻酔科医師の呼び出し体制を整備しています。

病室は、産科、小児科とNICU（新生児集中治療室）を同じフロアに集中配置し、正常分娩はもちろん、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、切迫早産、多胎、前置胎盤などを発症している妊産褥婦さんや緊急母体搬送などにも対応しています。

また、糖尿病・腎疾患・甲状腺機能異常・高血圧・精神科疾患などを発症している場合は、妊娠中から産褥期に至るまで院内の各科専門医と連携して治療を行い、退院後も継続して治療が必要な場合は、それぞれの診療科からかかりつけ医に紹介させていただいています。総合病院ならではの連携した診療を行うことで、より安心して安全な妊娠・出産・育児のサポートを提供することを目指しています。



分娩室



産科と小児科が連携した周産期チームでの対応

生まれた赤ちゃんは、すべて小児科医が診療を行い、入院が必要となった場合には、NICU（新生児集中治療室）で治療を行います。当院の新生児集中治療室では在胎30週、1,000g以上の赤ちゃんの治療が可能です。30週未満や1,000g未満の赤ちゃんに関しては、東海大学医学部付属病院や神奈川県立こども医療センターなどの高次医療機関に治療を引き継ぐようにしています。



NICU・GCU



産科・小児科の医師、助産師など様々な職種が連携して対応します。



すべてのお母さんと赤ちゃんの幸せを願い、心をこめて支援します

安全で安心な出産のために

当院では、お母さんが主体的に妊娠期・分娩期・産褥期を過ごせるように助産師による保健指導外来を実施しています。身体のこと、生活のこと、家族のこと、育児のことなどお母さんと赤ちゃんに寄り添い、一緒に考え、お母さんの良き相談相手となり、安心してマタニティーライフを過ごす事ができるように支援しています。

産科病棟スタッフは全員が助産師で、お母さんと赤ちゃんの安全を守るために、常に良質な助産やケアなどの対応ができるように努めています。

当院は、自然分娩を基本としており、必要に応じて芳香浴なども行いながら、リラックスした環境で出産できるように心掛けています。妊婦検診や保健指導を通して助産師がお母さんと関わることでお互いに信頼関係を築き、経膣分娩・帝王切開術のいずれであっても、お母さん自身が心から満足できる出産となるようにお手伝いします。

希望者を実施している
個別母親学級



安心して育児をするために

育児に関する心配事は助産師にご相談ください。

出産後は、自宅に帰っても安心して育児に臨めるように、入院中は母児同室とし、おっぱいのこと、赤ちゃんのことなど、心配事に助産師が対応しています。

産後健診は、2週間健診で育児相談と心の健康診断、1ヶ月健診で産科医師による産婦の健康チェックと小児科医師による新生児の発育チェックを行います。

母乳外来では、おっぱいトラブルに限らず育児全般の相談を行っており、他院で出産のお母さんでも対応しています。

病院を離れたあとも、引き続き支援が必要な方に対しては、継続した支援ができるように、医療ソーシャル・ワーカーや地域の保健師・助産師と連携して支援ができるように取り組んでいます。

分娩室または手術室で、
お母さんと赤ちゃんの最初の
面会写真を撮影しプレゼント！



栄養バランスを考えたおいしい食事の提供

管理栄養士が、産後の回復を助ける栄養バランスを考えた献立を作成しています。

また、見た目や味にもこだわることで、安心して楽しい入院生活を過ごせるように、心を込めて食事を提供します。



調理師の個性が光る☆祝い膳



ホッとひと息♪ティーサービス